

木綿街道新聞

出雲市立平田中学校
日野莉緒
2023年8月24日

お店紹介



木綿街道振興会
平井さんに聞いた
木綿街道のいい所

平田の歴史がつまっている場所、「木綿街道」。
それが身近にあるにもかかわらず、私達は、
木綿街道の歴史や、いい所をあまり知りません。
なので今回は、それらを知り、皆に広げるために紹介
します。

木綿を植えた理由

名前の一部ともなっている「木綿」
ですが、そもそもなぜ植えたの
でしょうか？
そもそも「木綿」
は昔、遠く所
で植えられていま
した。昔穴道湖の
近くに東京ドーム
100個分の大きさの
「平田」がありました。
そこをうめたて、
田んぼを作ろうとしていました。が、
穴道湖から流れてきた塩水のせいで、
稲が育たないため、田んぼ作りを
断念し、代わりに「木綿」を植えました。
その木綿は、今の大島屋さんの
あたりで市場があり、そこで売っ
たり、松江などの城下町にも売
つたりしていました。質が高いと
評判でたくさん売れていたため、
街並み保存に取り組む市民
が「木綿街道」と名付けた
そうです。



木綿は大事！

昔は、船川に船が通って
いました。
そのため、大阪などに、
木綿を輸出していました。
そのまま輸出するわけ
ではなく、「原たん」と言っ
て少し加工し、「白い布」として
輸出していました。
しかし、その「白い布」とい
うのは、たくさん輸出された
にもかかわらず、今残っている
布は全くありません。
また、その布を使い、服を
使っていたそうです。
なので、昔の人にとって、
木綿を大事に存在でした。
今は、木綿を作っておりま
せんが、建物の前には木綿
が、かざってあるなど、木綿の
思い出は受け継がれています。



▲木綿街道交法館
▲木綿街道

来問屋生姜屋

田園ニッポン旅マガジン

「生姜糖」で有名なお店です。
195年に創業してから、現在までの30年
以上もの間製法を守り、つくられています。
使用している生姜は、「出西生姜」とい
う高級生姜です。
その特徴は、ピリッ
とした辛みと上品な香
りです。
その生姜と唯一無二
の製法でつくられる、
「来問屋生姜糖」には、
喉の痛みや咳止めに効
きます。さらに炭酸で割れば本物のジンジャーエールに
なります。
比呂さんぜひ食べてみてください。



▲来問屋生姜糖
▲昔と今がわかる町
木綿街道探訪帖 (157)

持田将西油店

将西油はもちろん、それを使ったソフトクリームや、
おにぎりも売っているお店です。
ここの醬油は大手会社があつていない「再仕込み醬油」
というものを作られています。
その名の通り、一度出来上
がった生醬油を再び醸造
させ、つくる醬油のことです。
その中でも羽衣さしみ
醬油が人気です。
その醬油を使ったソフト
クリームが人気です。
また、醬油のおにぎりが
たまらない、焼きおにぎり
も人気です。
おいしいので、皆さんも
ぜひ食べてみてください。



▲醬油ソフトクリーム 出典 木綿街道

編集後記

今回、木綿街道取材して、
分からないことがたくさんあると
実感しました。
そのため、新聞づくりとい
うものが、木綿街道についてたく
さん知れて良かったです。
また、木綿街道の皆さんの思
いを知り、私達もこれからの世
代に受け継いでいきたいです。



▲本石橋邸 出典 木綿街道